

免疫抑制剤「ネオーラル<sup>®</sup>内用液 10%」が、川崎病の効能を取得しました  
(2020年2月21日付)

2020年2月21日（金）に、「ネオーラル<sup>®</sup>内用液10%」（一般名シクロスポリン）に「川崎病の急性期（重症であり、冠動脈障害の発生の危険がある場合）」の効能が追加されました。この効能追加は、千葉大学、和歌山県立医科大学、東京女子医科大学を中心とした全国22施設で実施された、IVIG不応例と予測される川崎病患者に対する「ネオーラル<sup>®</sup>内用液10%」の医師主導治験（CHI-CsA-004 試験）結果に基づくものです。

<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/30853151>

なお、今回の効能追加は「ネオーラル<sup>®</sup>内用液10%」のみで、他の剤型（10mgカプセル、25mgカプセル、50mgカプセル）に川崎病の効能はありません。

「ネオーラル<sup>®</sup>内用液 10%」の添付文書から川崎病に関する「効能又は効果」、「用法及び用量」を抜粋します。

#### 4. 効能又は効果

〈ネオーラル内用液10%〉

○川崎病の急性期（重症であり、冠動脈障害の発生の危険がある場合）

#### 6. 用法及び用量

〈川崎病の急性期〉

通常、シクロスポリンとして1日量5mg/kgを1日2回に分けて原則5日間経口投与する。

「ネオーラル<sup>®</sup>内用液10%」の注意事項については、添付文書、インタビューフォームを参照の上、適正な使用をお願いします。